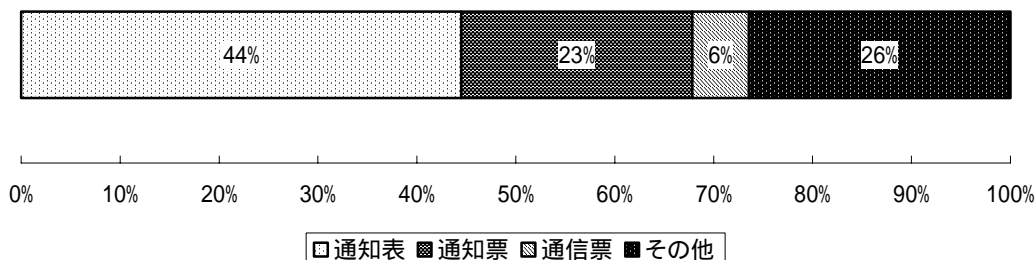


Ⅲ 中学校の通信簿の分析結果

-
-
- 1 通信簿の名称
 - 2 通信簿の判型, ページ
 - 3 「各教科の学習の記録」欄－必修教科－
 - 4 「各教科の学習の記録」欄－選択教科－
 - 5 「総合的な学習の時間の記録」欄
 - 6 「特別活動の記録」欄
 - 7 「行動の記録」欄
 - 8 所見・通信等の欄
 - 9 「出欠の記録」欄
 - 10 その他
-
-

1 通信簿の名称

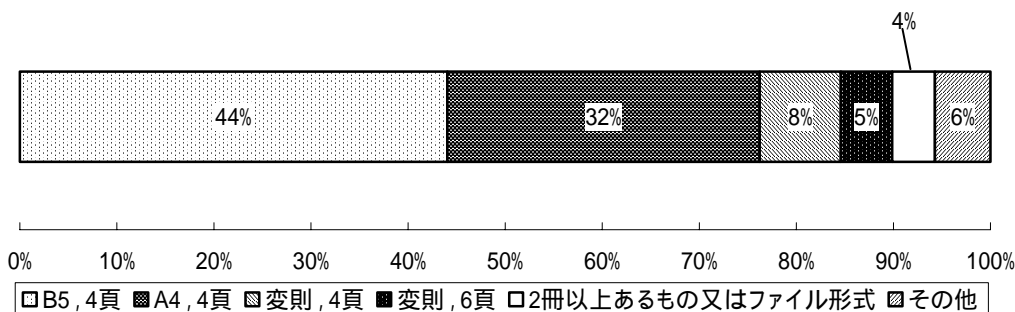


n=227

*副タイトルは集計の対象にしない。

通信簿の表紙に掲げられている名称では、「通知表」という名称が44%と最も多く、次いで「通知票」という名称が23%、「通信票」が6%となっている。「その他」には「教育通信」「通信表」「連絡票」「通知簿」「通信簿」「成績通知表」「教育通信票」などがある。

2 通信簿の判型, ページ



n=227

*判型は折りたたまれている状態のものを示す。

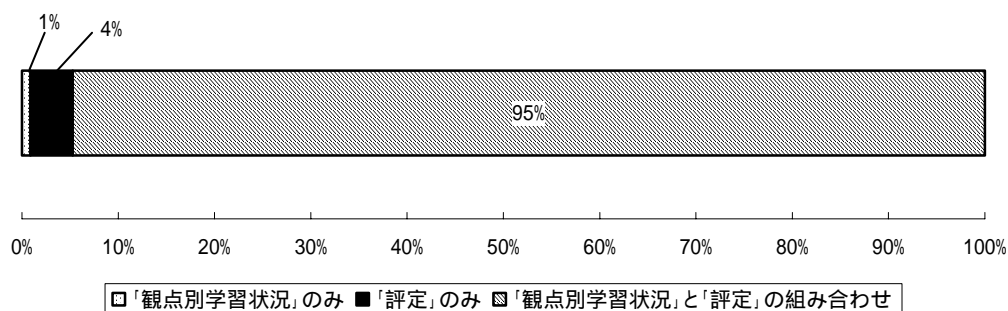
*ページ数は表紙, 裏表紙を含む。

通信簿の判型, ページ数はB4を半分に折りたたむもの(B5判, 4ページ)が44%と最も多く, 次いでA3を半分に折りたたむもの(A4判, 4ページ)が32%と多い。判型が変則のものを半分に折りたたむもの(変則, 4ページ)が8%, B4やA3を三つ折りにするもの(変則, 6ページ)が5%となっている。そして, 2冊で1つのセットになっているものやファイル形式になっているものが4%である。

3 「各教科の学習の記録」欄－必修教科－

(1) 「各教科の学習の記録」欄の構成と名称

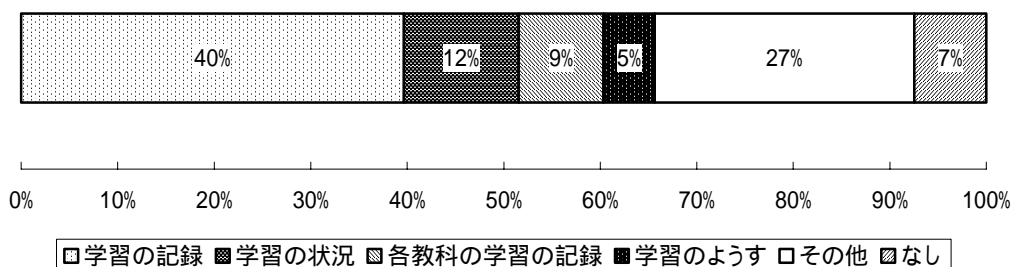
① 構成（「観点別学習状況」欄及び「評定」欄の有無）



n=227

「各教科の学習の記録」欄は、すべての中学校第2学年の通信簿で設定されている。「観点別学習状況」欄だけで構成されているものは1%、「評定」欄だけで構成されているものは4%となっている。その両方の組み合わせで構成されているものは95%である。

② 名称



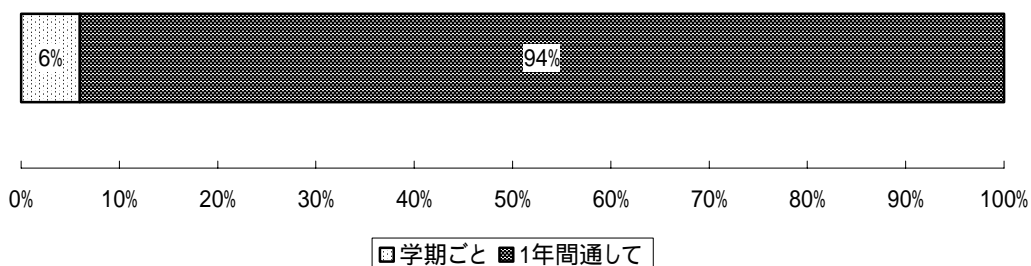
n=227

*副タイトルは集計の対象にしない。
*ひらがなと漢字の表記の差異は区別しない。

「各教科の学習の記録」欄の名称では、「学習の記録」が40%と最も多く、「各教科の学習の記録」とあわせると49%となる。次いで「学習の状況」が12%、「各教科の学習の記録」が9%、「学習のようす」が5%となっている。「その他」には「学習のあらわれ」「必修教科の学習の記録」などがある。

(2) 「観点別学習状況」欄

① 観点の表示欄の設定

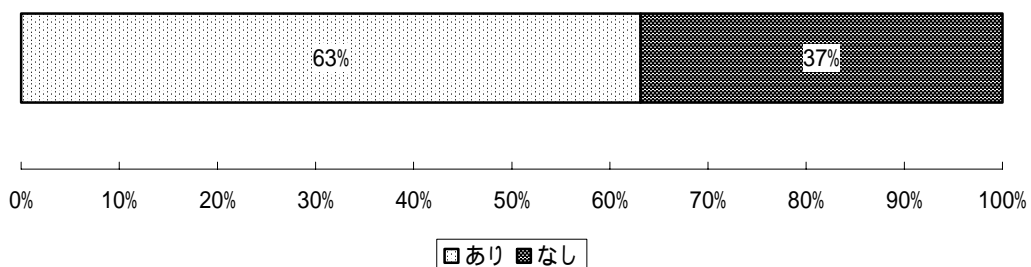


n=217

「観点別学習状況」欄において、1年間通して同じ観点を表示しているものと、学期ごとに観点の内容を変えて表示しているものがあり、前者は94%、後者は6%である。

なお、ここで観点とは「関心・意欲・態度」「思考・判断」「技能・表現」「知識・理解」などで表されているものや文章で表しているものを指している。

② 文章による観点の表示

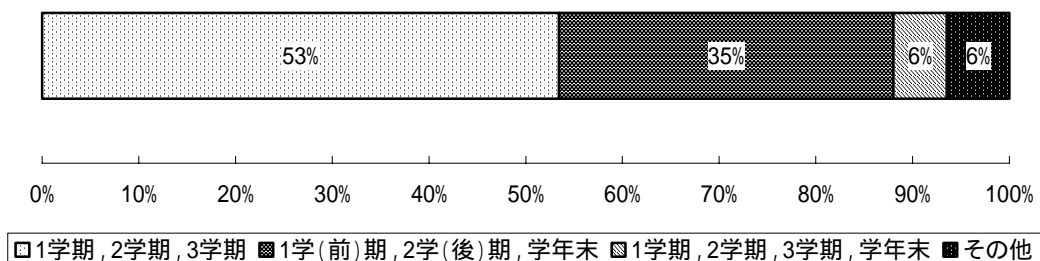


n=217

「観点別学習状況」欄において、観点を文章で示しているものは63%であり、示していないものは37%となっている。

なお、観点を文章で示しているものの中には、⑦詳しく文章で観点を示しているものと、⑧観点を簡潔に「関心・意欲・態度」「思考・判断」「技能・表現」「知識・理解」などとし、これについて説明しているものがある。

③ 学期ごとの評価欄の有無



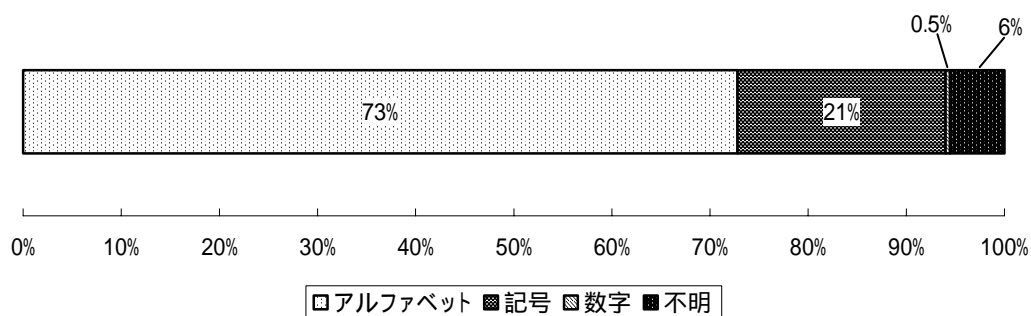
n=217

*教科により評価欄の設定が異なる場合は、教科数の多い方で集計する。

「観点別学習状況」の評価欄を1学期、2学期、3学期と設定している通信簿は53%と最も多く、次いで1学期（前期）、2学期（後期）、学年末に設定しているものが35%、1学期、2学期、3学期、学年末とするものが6%である。「その他」は1学期（前期）、2学期（後期）とする場合や学年末にのみ設定している場合などである。

なお、教科によって評価欄の設定が異なる場合がある。ある通信簿では、「技術・家庭」が1学期（前期）と2学期（後期）に評価欄を設定しているのに対し、これ以外の教科は1学期、2学期、3学期と設定している。

④ 評価の表示



n=217

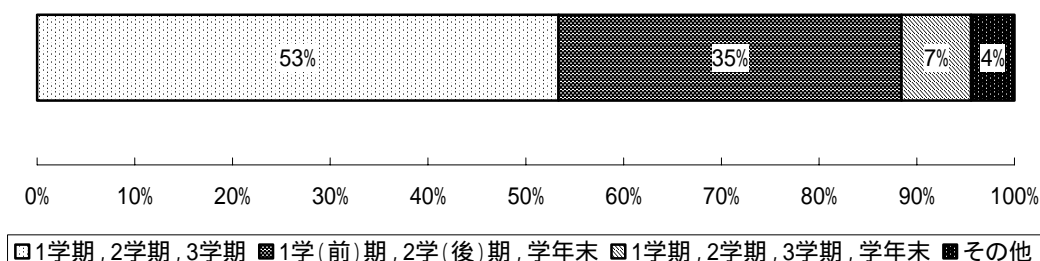
「観点別学習状況」の評価について、「A, B, C」や「A, 空欄, C」などのようにアルファベットで表す場合が73%と最も多く、「○, 空欄, △」や「◎, ○, 空欄」などのように記号を用いて表す場合が21%となっている。

なお、アルファベットで最も多いのが、「A, B, C」と表す場合で67%、記号で最も多いのが、「○, 空欄, △」とする場合で11%である。

また、評価の段階については、3段階によるものは89%である。2段階によるものが4%であり、「○」と空欄で表すようになっている。5段階によるものは1%である。

(3) 「評価」欄

① 学期ごとの評価欄の有無



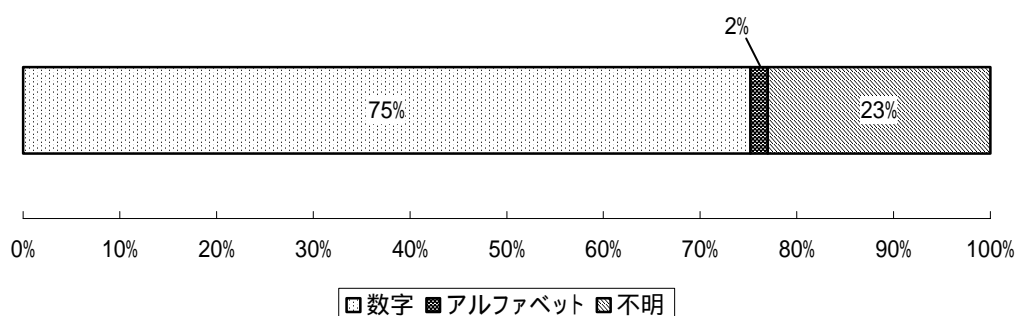
n=225

*教科により評価欄の設定が異なる場合は、教科数の多い方で集計する。

評価欄の設定については、1学期、2学期、3学期とする通信簿が53%と最も多い。次いで1学期（前期）、2学期（後期）、学年末とする場合が35%、1学期、2学期、3学期、学年末とする場合が7%である。「その他」は、1学期（前期）、2学期（後期）に設定している場合や学年末にのみ設定している場合である。

なお、教科によって評価欄の設定が異なる場合がある。ある通信簿では、「技術・家庭」が1学期（前期）と2学期（後期）に評価欄を設定しているのに対し、これ以外の教科は1学期、2学期、3学期に設定している。

② 評価の表示



n=225

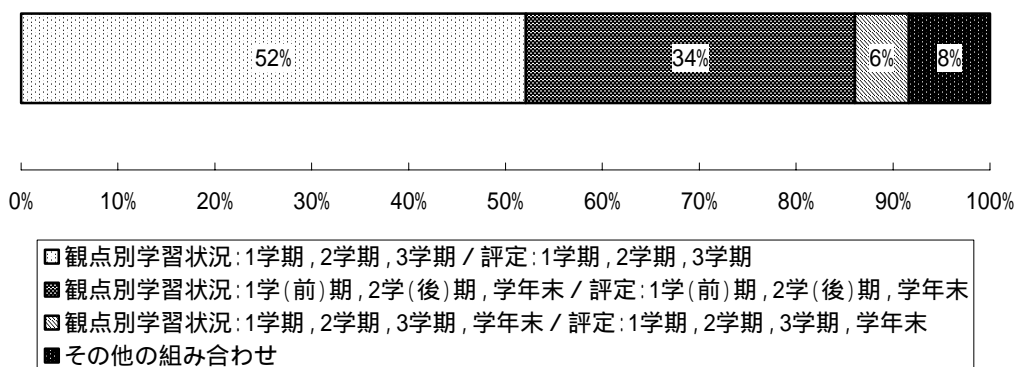
評価の表示では、数字で表す場合が最も多く75%となっている。なお、これには「5, 4, 3^o, 3, 3^A, 2, 1」のように数字と記号を組み合わせたものが2例含まれている。アルファベットで表すものは2%となっている。

なお、数字による表記で最も多いのは「5, 4, 3, 2, 1」と表す場合の73%である。

また、評価の段階については、5段階のものが82%と最も多い。次いで10段階のものが6%である。その他に4段階や3段階などで表す場合があり、「AA, A, B, C」や「A, B, C」などがある。

(4) 「観点別学習状況」及び「評定」の評価欄

① 学期ごとの評価欄の有無

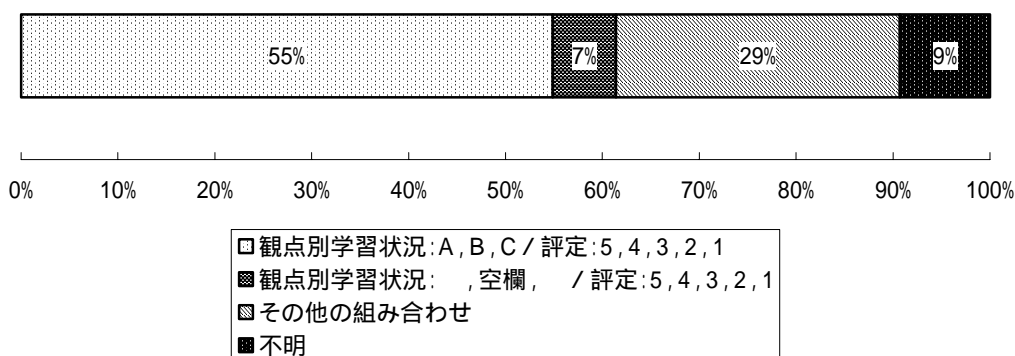


n=215

*教科により評価欄の設定が異なる場合は、教科数の多い方で集計する。

「観点別学習状況」及び「評定」の評価欄の設定で、最も多いのが「観点別学習状況」及び「評定」の評価欄をともに1学期、2学期、3学期に設定している場合の52%である。次いで、ともに1学期（前期）、2学期（後期）、学年末に設定する場合は34%となっている。

② 評価の表示



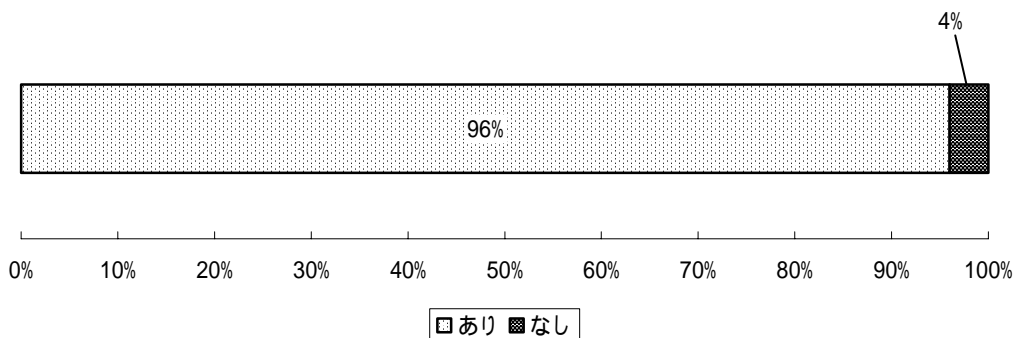
n=215

「観点別学習状況」及び「評定」の評価の表示では、「観点別学習状況」が「A, B, C」, 「評定」が「5, 4, 3, 2, 1」とする場合は最も多く55%となっている。次いで「観点別学習状況」を「O, 空欄, △」で表し、「評定」を「5, 4, 3, 2, 1」で表すものが7%となっている。

評価の段階については、「観点別学習状況」を3段階、「評定」を5段階とする場合が80%と最も多い。次いで3段階、10段階の組み合わせが4%となっている。

4 「各教科の学習の記録」欄—選択教科—

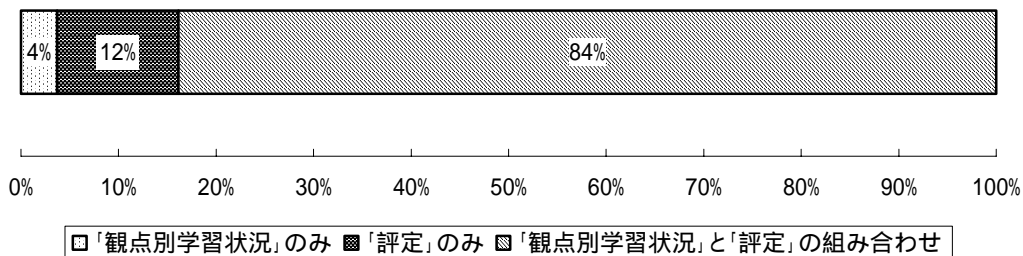
(1) 欄の設定



n=227

「各教科の学習の記録」で選択教科の欄を設定している通信簿は96%である。4%の通信簿は設定していない。

(2) 構成（「観点別学習状況」欄及び「評価」欄の有無）

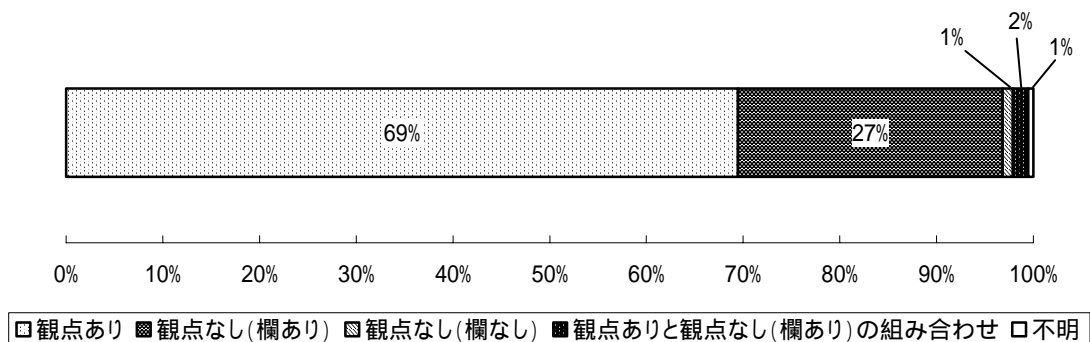


n=217

選択教科では、「観点別学習状況」欄と「評価」欄の両方を設定している通信簿は84%である。「評価」欄のみを設定しているものは12%、「観点別学習状況」欄のみを設定しているものは4%となっている。

(3) 「観点別学習状況」欄

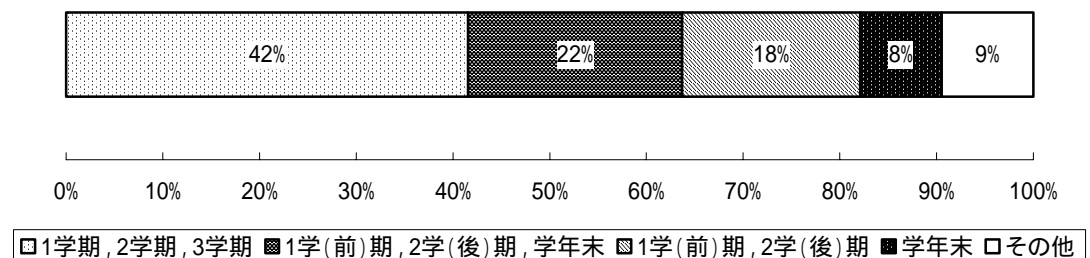
① 観点の表示



n=190

選択教科の「観点別学習状況」欄で、観点を記載しているものは 69%である。観点は記載していないが、記入者が観点を記入するように欄を設定しているものは 27%である。観点の記載がなく、欄も設定していないものは 1%であり、観点を記載している欄と空白の欄を組み合わせているものが 2%となっている。

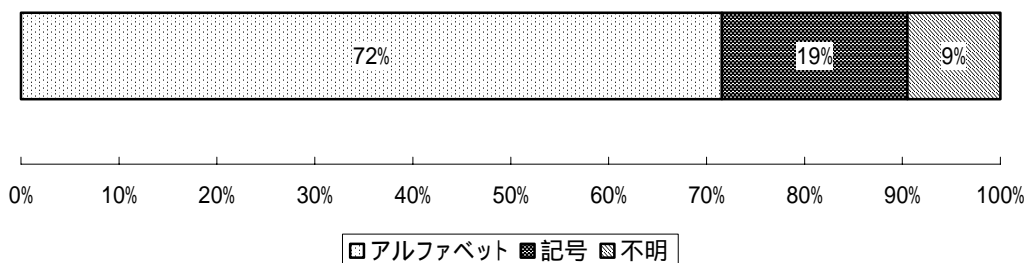
② 学期ごとの評価欄の有無



n=190

選択教科の「観点別学習状況」について、1 学期、2 学期、3 学期と評価欄を設定している通信簿が 42%と最も多く、次いで 1 学期（前期）、2 学期（後期）、学年末に設定する場合は 22%、1 学期（前期）、2 学期（後期）としているものが 18%、学年末にのみ設定しているものが 8%となっている。

③ 評価の表示



n=190

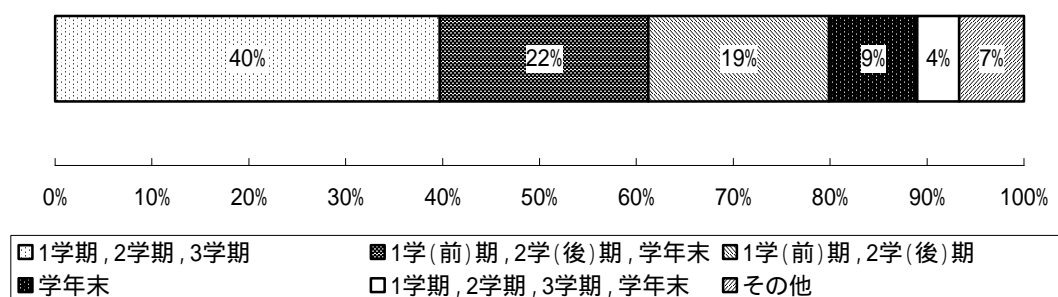
選択教科の「観点別学習状況」の評価の表示では、「A, B, C」や「A, 空欄, C」などのようにアルファベットで表すものが72%であり、「○, 空欄, △」, 「◎, ○, 空欄」, 「◎, ○, △」などのように記号で表すものが19%である。

なお、アルファベットで最も多いのは「A, B, C」の66%、次いで「A, 空欄, C」が5%となっている。記号で最も多いのは「○, 空欄, △」の10%である。

また、評価の段階については、3段階のものが89%と最も多い。

(4) 「評定」欄

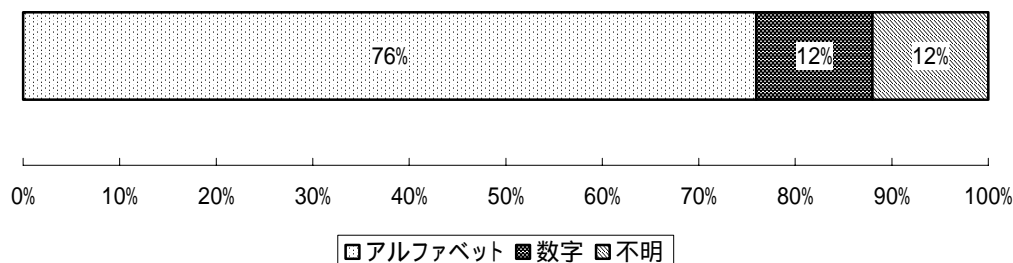
① 学期ごとの評定欄の有無



n=209

選択教科では1学期, 2学期, 3学期と評定欄を設定している場合が40%と最も多く、次いで1学期(前期), 2学期(後期), 学年末に設定する場合は22%である。1学期(前期), 2学期(後期)とする場合は19%, 学年末にのみに設定する場合は9%, 1学期, 2学期, 3学期, 学年末とする場合は4%となっている。「その他」は、2学期, 学年末とする場合や2学期, 3学期とする場合などである。

② 評定の表示



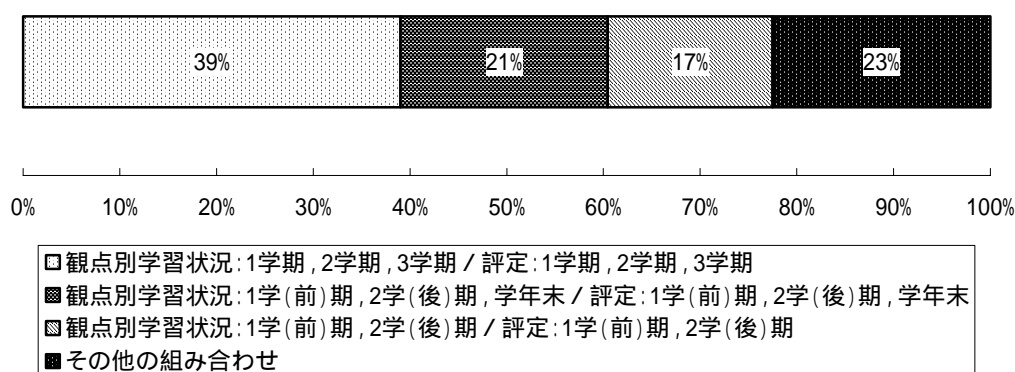
n=209

選択教科の評定の表示では、「A, B, C」「AA, A, B, C」などのようにアルファベットで表す場合が最も多く 76%となっている。次いで数字で表す場合が 12%となっている。ただし、数字で表すものの中には、数字と記号（○と△）を組み合わせている場合が 1 例、点数で表す場合が 1 例含まれている。

評定の段階については、3 段階のものが最も多く 77%，次いで 5 段階のものが 11%となっている。なお、5 段階で表すものはすべて「5, 4, 3, 2, 1」である。

(5) 「観点別学習状況」及び「評定」の評価欄

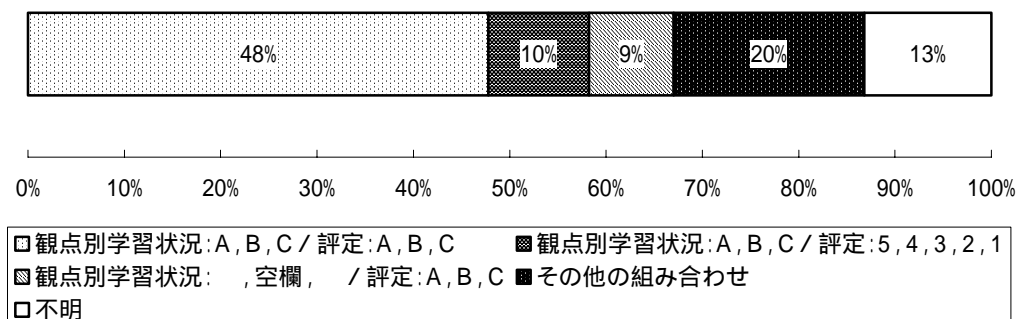
① 学期ごとの評価欄の有無



n=182

選択教科では、「観点別学習状況」及び「評定」の評価欄をともに 1 学期, 2 学期, 3 学期に設定している場合が最も多く 39%，次いで 1 学期（前期）, 2 学期（後期）, 学年末とする場合が 21%である。

② 評価の表示



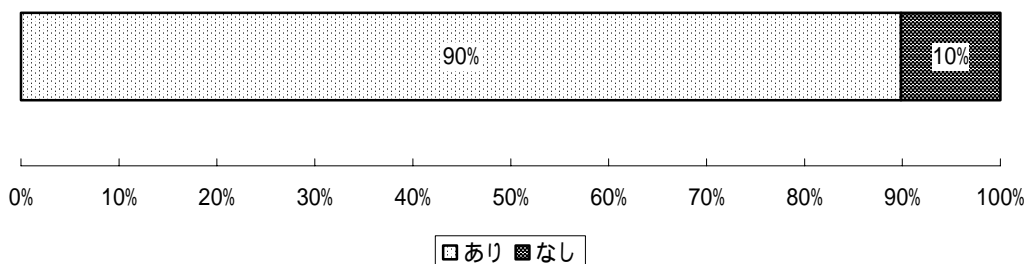
n=182

選択教科では、「観点別学習状況」及び「評定」の評価をともに「A, B, C」と表す場合が最も多く48%、次いで「観点別学習状況」を「A, B, C」と表し「評定」を「5, 4, 3, 2, 1」と表す場合が10%である。「観点別学習状況」を「○, 空欄, △」, 「評定」を「A, B, C」と表す場合は9%となっている。

評価の段階については、「観点別学習状況」及び「評定」をともに3段階で表す場合が70%であり、次いで「観点別学習状況」を3段階, 「評定」を5段階で表す場合が13%となっている。

5 「総合的な学習の時間の記録」欄

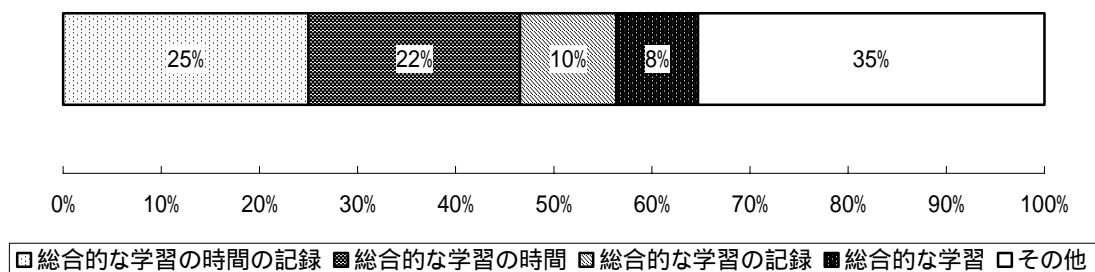
(1) 欄の設定



n=227

「総合的な学習の時間の記録」欄を設定している通信簿は **90%**であり、設定していないものは **10%**となっている。

(2) 名称



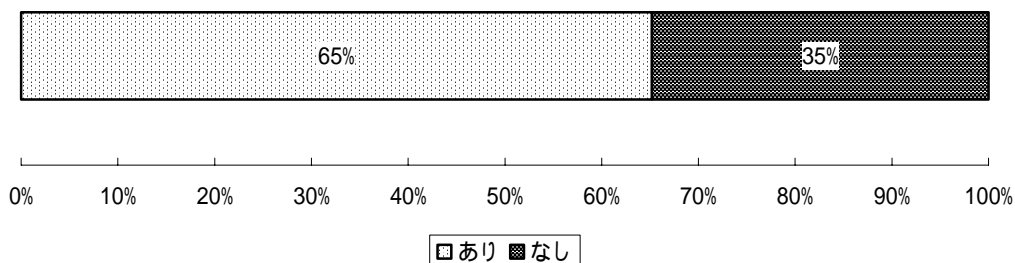
n=204

*副タイトルは集計の対象にしない。

「総合的な学習の時間の記録」欄の名称で、最も多いのが「総合的な学習の時間の記録」の **25%**、次いで「総合的な学習の時間」が **22%**である。「総合的な学習の記録」は **10%**、「総合的な学習」は **8%**となっている。「その他」には「総合的な学習の状況」「総合的な学習の時間のようす」「総合人間科」や地名や地域名、学校名を用いた名称などがある。

また、副タイトルも含めると、「チャレンジタイム」「ハートフルタイム」のように「～タイム」という名称や、「～タイム」「～スタディズ」などの「～」の部分に地名や地域名、学校名を入れる名称、そして、英語を用いるなどして独自に名称をつくっているものが **18%**ある。この場合、「総合的な学習の時間」などのように「総合」という言葉を用いる名称と組み合わせている場合とそうでない場合がある。**18%**のうち、組み合わせている場合が **13%**、そうでない場合が **5%**である。

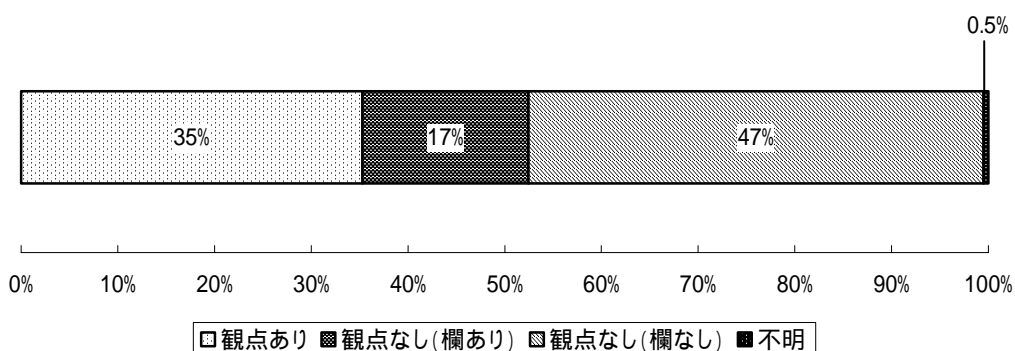
(3) 学習活動の欄の有無



n=204

学習活動の内容を記載する欄を見てみると、学習活動の内容をあらかじめ記載しているものを含め、学習活動の内容を記載する欄を設けているものは 65%となっている。欄を設定していないものは 35%である。

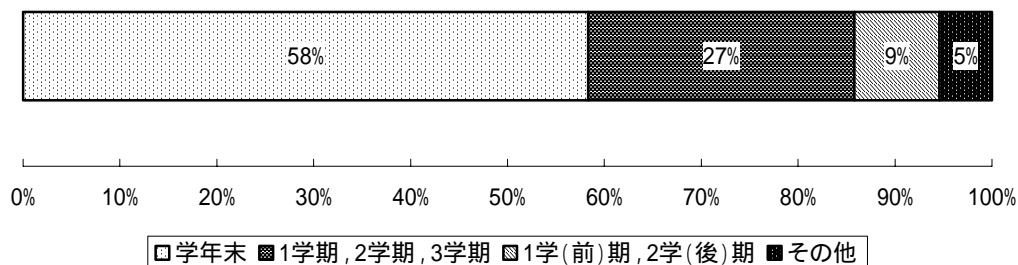
(4) 観点の表示



n=204

「総合的な学習の時間の記録」欄に、観点を記載しているものは 35%であり、観点を記載していないが、後から記載することができるように欄だけを設定しているものは 17%となっている。観点の記載がなく、観点を記載するための欄も設定していない場合は 47%である。

(5) 学期ごとの評価欄の有無

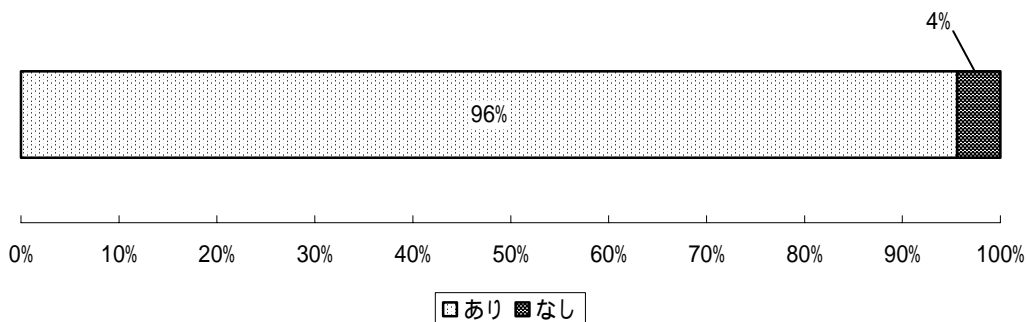


n=204

「総合的な学習の時間の記録」の評価欄を学年末にのみ設定している通信簿は **58%**である。次いで、**1学期, 2学期, 3学期**とする場合が **27%**、**1学期(前期), 2学期(後期)**とする場合は **9%**となっている。「その他」は、**1学期(前期), 2学期(後期), 学年末**に設定している場合や **1学期, 2学期, 3学期, 学年末**に設定している場合などである。

6 「特別活動の記録」欄

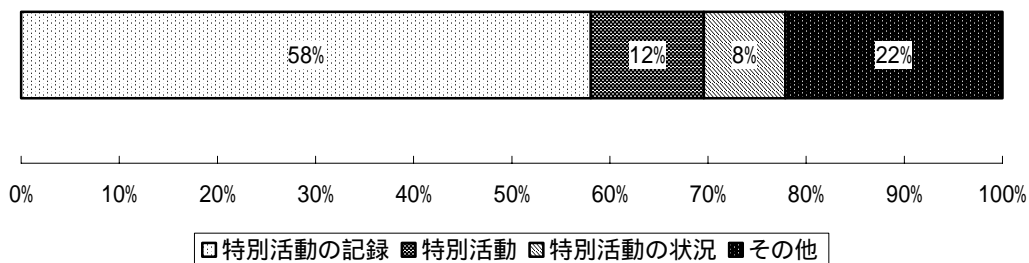
(1) 欄の設定



n=227

「特別活動の記録」欄を設定している通信簿は 96%であり、設定していないものは 4%である。

(2) 名称

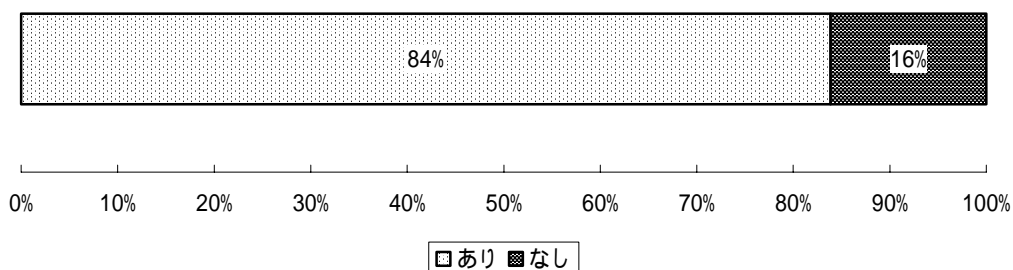


n=217

*副タイトルは集計の対象にしない。

「特別活動の記録」欄の名称で、最も多いのが「特別活動の記録」の 58%であり、次いで「特別活動」が 12%、「特別活動の状況」が 8%である。「その他」には「特別活動のようす」「活動の記録」「学校生活のようす」などがある。

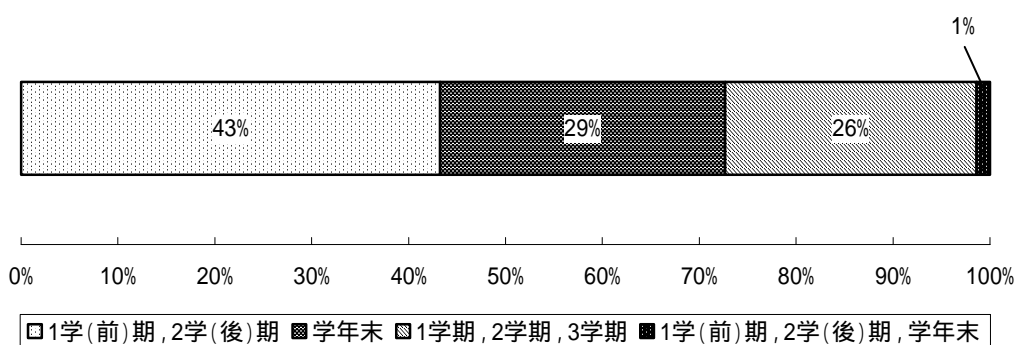
(3) 内容の表示



n=217

「学級活動」「生徒会活動」「学校行事」などのように、あらかじめ特別活動の内容を記載しているものは **84%**である。記入者が内容と評価などを記入するように設定しているものは **16%**である。

(4) 学期ごとの評価欄の有無

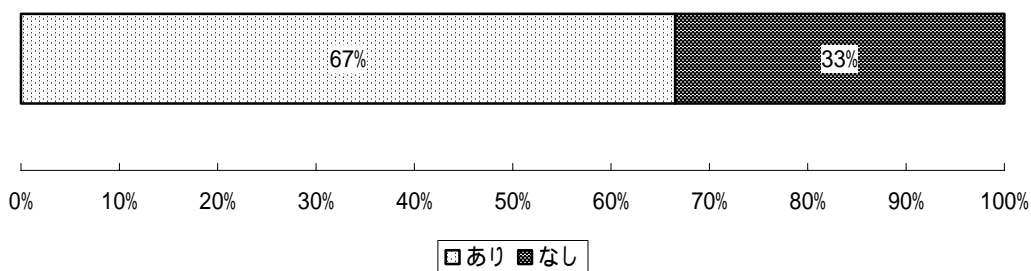


n=217

「特別活動の記録」の評価（記録）欄を1学期（前期）、2学期（後期）に設定している場合が **43%**と最も多く、次いで学年末にのみ設定している場合が **29%**、1学期、2学期、3学期とする場合が **26%**となっている。

7 「行動の記録」欄

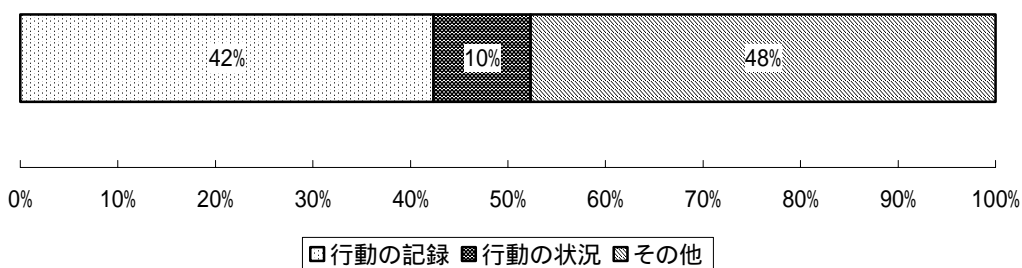
(1) 欄の設定



n=227

「行動の記録」欄を設定している通信簿は 67%であり、設定していないものは 33%となっている。

(2) 名称



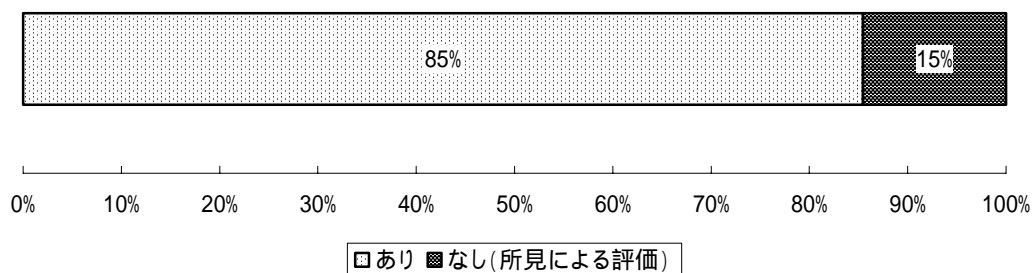
n=151

「行動の記録」の名称で、最も多いのが「行動の記録」の 42%であり、次いで「行動の状況」が 10%となっている。「その他」は、「行動のようす」「生活のようす」「学校生活のようす」などである。

なお、記録欄の名称の末尾については、「行動の記録」や「生活の記録」などのように「～の記録」となっているものが 52%であり、「～の状況」及び「～のようす」という名称はともに 17%となっている。その他には「～のあらわれ」「～の所見」という名称がある。

また、記録欄の名称に「行動」及び「生活」という言葉を含むかどうかで見てみると、「行動」を含むものは 68%であり、「生活」を含むものは 29%となっている。

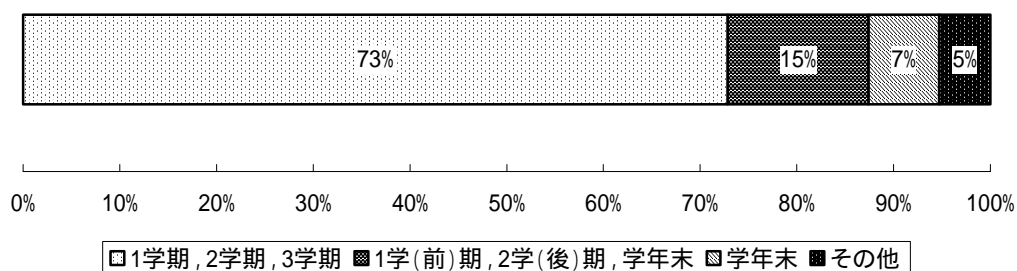
(3) 評価項目の有無



n=151

「基本的な生活習慣」「健康・体力の向上」「自主・自律」「責任感」「創意工夫」などの「行動の記録」の評価項目を設定している通信簿は 85%である。項目を設定せずに所見で評価するものは 15%となっている。

(4) 学期ごとの評価欄の有無

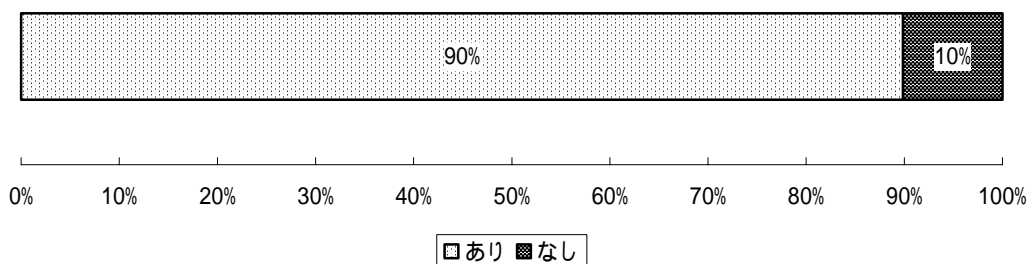


n=151

「行動の記録」の評価欄を 1 学期, 2 学期, 3 学期に設定している通信簿は 73%である。1 学期 (前期), 2 学期 (後期), 学年末とする場合は 15%, 学年末にのみ設定している場合は 7%である。「その他」は 1 学期 (前期), 2 学期 (後期) とする場合などである。

8 所見・通信等の欄

(1) 欄の設定

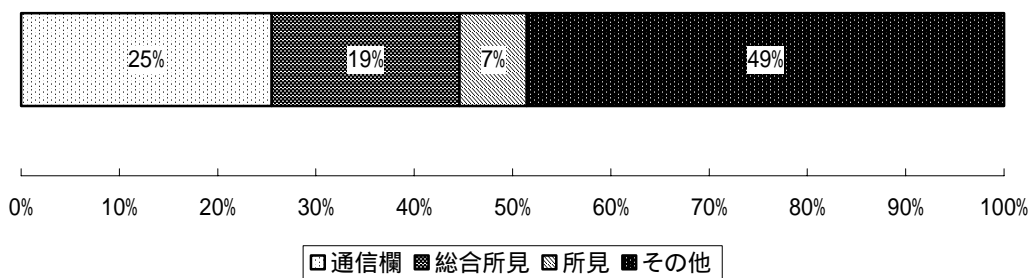


n=227

所見欄又は通信欄を設定している通信簿は90%であり、設定していないものは10%である。

なお、ここでは、所見欄と通信欄の区別は困難であるため、区別せずに集計している。また、所見欄と通信欄を別々に設定している通信簿はほとんどない。

(2) 名称



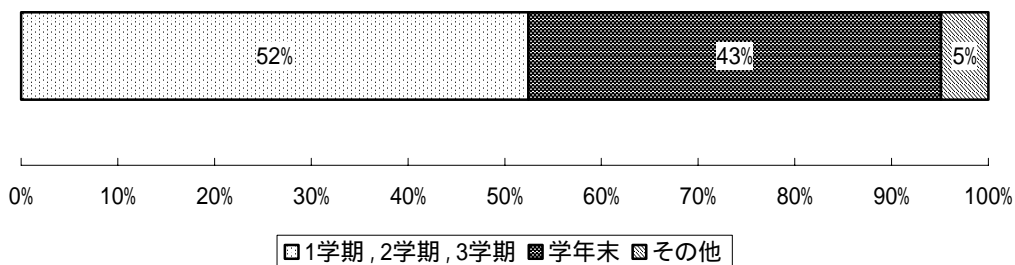
n=204

*副タイトルは集計の対象にしない。

名称については、「通信欄」が最も多く25%であり、次いで「総合所見」が19%であり、「所見」は7%となっている。「その他」は「学校から家庭へ」「学校から」などである。

なお、副タイトルを含め、名称に「所見」を含むものは全体の45%である。また、「通信」「連絡」という言葉や「～から」「～へ」という言葉を用いている名称は50%である。

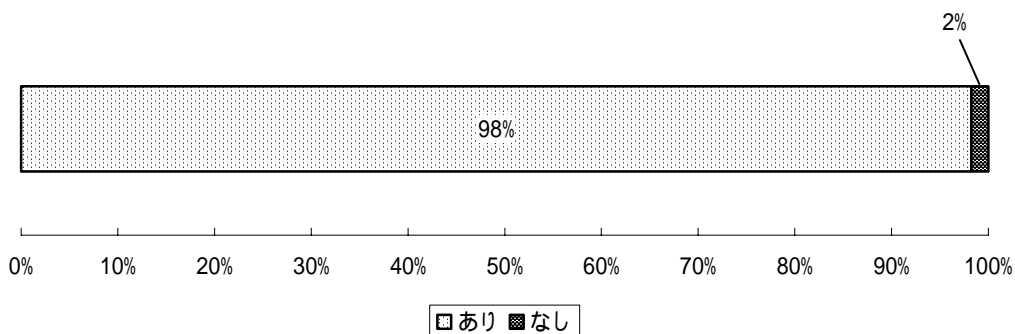
(3) 学期ごとの記入欄の有無



n=204

所見欄又は通信欄の記入欄の設定で、最も多いのが1学期、2学期、3学期に設定する場合の52%である。次いで学年末にのみ設定している場合が43%となっている。「その他」には1学期（前期）、2学期（後期）、学年末とする場合や1学期（前期）、2学期（後期）とする場合などがある。

9 「出欠の記録」欄

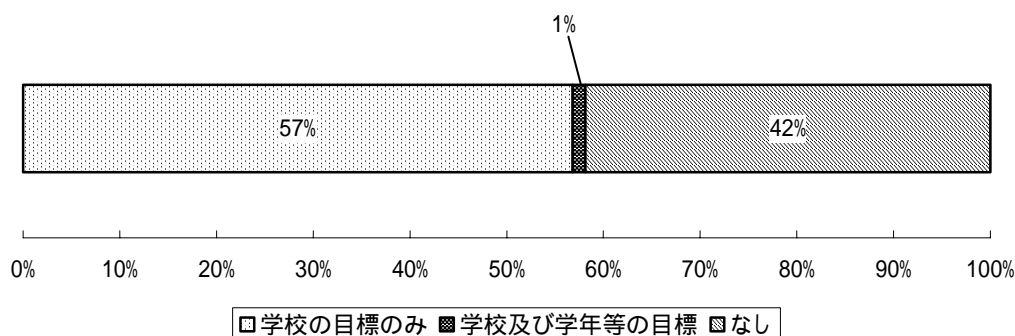


n=227

「出欠の記録」欄を設定している通信簿は98%であり、2%の通信簿は設定していない。

10 その他

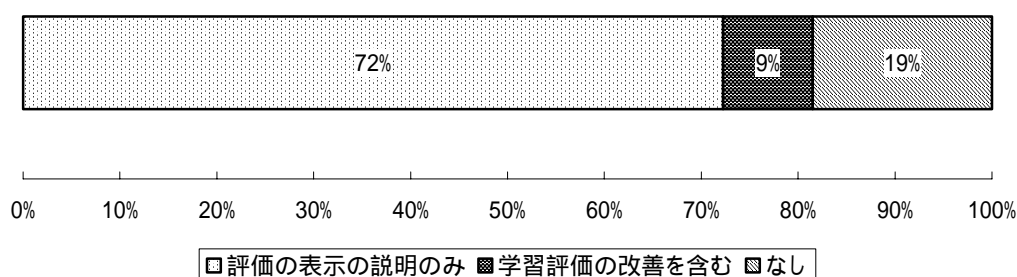
(1) 教育目標



n=227

学校としての教育目標を記載している通信簿は 58% である。このうち、学年又は学級の目標も記載しているものは 1% である。教育目標を記載していない通信簿は 42% となっている。

(2) 通信簿の見方

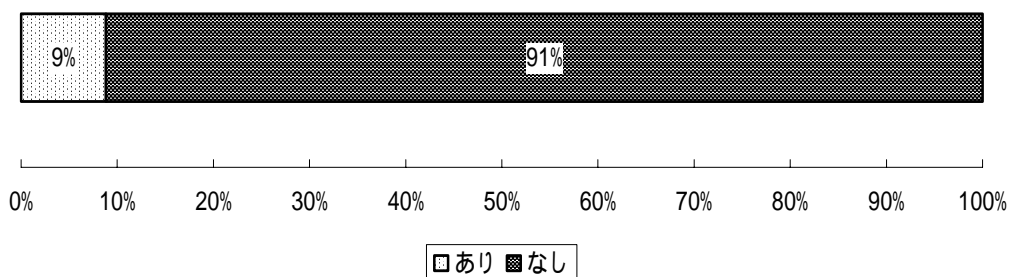


n=227

通信簿の見方について「十分満足できると判断されるものを A、おおむね満足できると判断されるものを B、努力を要すると判断されるものを C とする」などのように、「観点別学習状況」や「評定」の評価の表示の仕方などについて説明しているものは 72% である。これに加え、評価が目標に準拠した評価（いわゆる絶対評価）で行うことを説明しているものが 9% となっている。

なお、目標に準拠した評価の説明を通信簿に直接記載していないが、プリントを配付して説明している場合もある。通信簿の実態調査と同時にに行った、アンケートによる学習評価の工夫改善に関する実態調査では、評価の仕方が変わったことについて、説明文書を配布したと回答した中学校は 64% となっている。

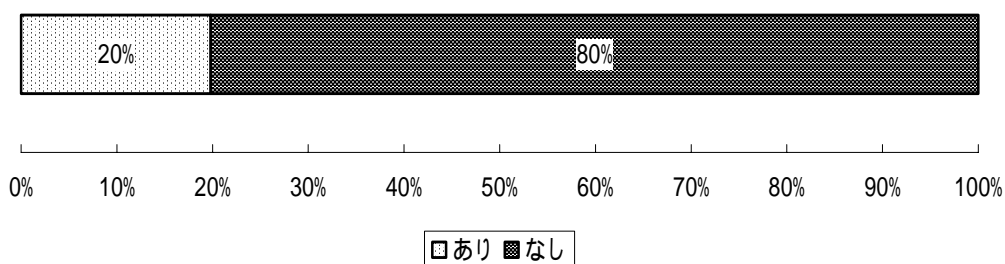
(3) 生徒の自己評価欄



n=227

生徒の自己評価欄を設定している通信簿は9%である。91%の通信簿は設定していない。

(4) 身体・健康に関する記録欄

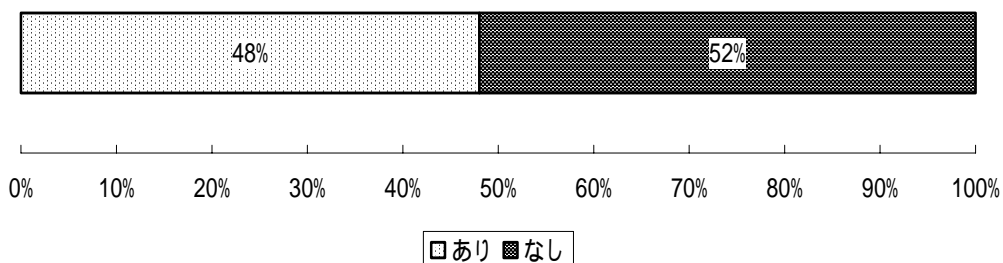


n=227

身体・健康に関する記録欄を設定している通信簿は20%である。80%の通信簿は身体・健康に関する記録欄を設定していない。

なお、学校保健法施行規則の規定により、同法に定める健康診断を行った場合には、21日以内に生徒及びその保護者に通知することとされており、これに基づく通知は別途行われていると考えられる。

(5) 保護者からの通信欄



n=227

保護者が記入する通信欄を設定している通信簿は48%であり、設定していないものは52%である。